

7月 園だより

<教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

R4. 6. 30 文京区立本駒込幼稚園



体を動かす 心を動かす

園長 藤田 智子

子どもたちが楽しみにしていたプール遊び・水遊びがはじまりました。プール開きの数日前、年長組の子どもたちは、これから自分たちが使うプールに気持ちよく入ることができるよう、学級のみなどと力を合わせてプール清掃を行いました。業者によるプール清掃を行った後ではありますが、プールに入ることを楽しみにする気持ちを高め、幼稚園で一番大きい組だからできることへの自信や、人の役に立つことをする喜びを感じることに繋げていくために活動を行いました。ここ数日は、暑さ指数(WBGT)が31℃を超えプールに入ることができないという例年にない状況にありますが、年長組がきれいにしてくれたプールで気持ちよく水遊びができる天候になることを願い、安全面に十分に配慮しながらプール遊び・水遊びを行っていきます。

さて、先日、本園において今年度から2年間に渡って取り組む、『体育健康教育推進校』の研究概要をお知らせする手紙を配布いたしました。生涯にわたって健康に過ごすことのできる体の基盤を作る幼児期に、体を動かす習慣をつけていくことは重要なことです。本研究では、幼児が夢中になって体を動かして遊び、多様な動きを経験していくことができるような様々な指導の工夫を行っていきます。進んで体を動かすことにより、運動能力が向上し、それに伴い自分の体をコントロールする力も身に付いていきます。自分のイメージ通りに自分の体を動かすことができるようになると、より運動遊びの楽しさが感じられるようになり、“体が動く则ち心が動く、心が動く則ち体が動く”という良い循環が生まれ、さらに意欲的に体を動かして遊ぶようになります。体力が向上すると、病気にかかりにくく、ストレスに対する抵抗力も高くなると言われています。運動習慣がつくと、食事や睡眠にもよい影響をもたらすこともわかっています。幼児が体を動かす楽しさを十分に感じながら自発的に運動遊びに取り組めるようになることを目指していきます。

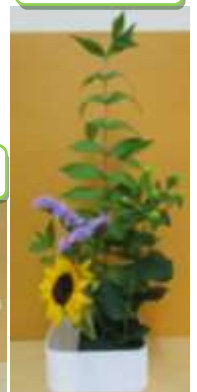
体を動かす活動とともに、心を動かし心を豊かにする活動として、今年度は教育活動の中に生け花を取り入れました。一昨日、年中組・年長組の子どもたちを対象に、生け花の会を実施しました。表現する楽しさを感じながら自分の思いを表出する方法の幅を広げていくこと、自然への関心を高めること、日本の伝統文化に触れる機会の一つとすることを目的として行いました。第1回目の今回、年中組は、花の美しさや花に触れる喜びを感じながら、自分の好きなように生けてみる経験をしました。年長組は、花材を生ける時の軸となる3つの点(真・副・控)について知り、自分でバランスを考え、角度や長さを調節しながら生ける経験をしました。年中組・年長組ともに、生ける前に水の中で茎を切る“水切り”の仕方も覚えました。

安全面や生けたままの状態を持ち帰ることを考え、剣山ではなくオアシスに生けています。出来上がった生け花は、それぞれに異なり、それぞれに良さを感じる素敵な作品となりました。最後に学級の友達と出来上がった作品を見せ合い、感想を伝える時間を設けました。

自分の表現を友達に褒められ、認められる喜びを感じる時間となりました。年少組の第1回目の生け花は2学期に行います。

明日から7月です。すでに真夏の暑さが続いています、熱中症に気を付けながら、夏ならではの活動を思い切り楽しめるよう、工夫していきます。

年長児作品



年中児作品

